

アルミニウム溶接技能者評価試験受験申込書

受付番号	受験番号

(全面のり付)  
最近6か月以内に  
撮影されたもの  
上半身脱帽  
写真のサイズ  
(縦45mm×横35mm)  
パスポート用

アルミニウム溶接技術検定委員会 委員長 殿

JIS Z 3811に基づく溶接技能者評価試験の受験を6項の誓約事項に同意し申し込みます。

1 試験区分		1:新規 (1:実技と学科, 2:実技のみ, 3:学科追試)      3:再認証(更新) 学科追試の場合, 実技合格発行日, 場所:(    年    月    日    )																			
2 受験場所		場所名										受験日		年 月 日							
3 受 験 者	個人コード	決っている方は必ず記入										フリガナ					1	2			
	フリガナ	氏名																⓪	男	女	
	現住所																	電話		Fax	
	生年月日	(西暦) 年 月 日 (才)										経験年数		年 月 日							
	溶接歴																				
4 受 験 種 類	区分	テ ィ グ 溶 接 裏当て金なし						ミ グ 溶 接 裏当て金なし						ミ グ 溶 接 裏当て金あり							
	板	基本級	11	TN-1F	21	TN-2F	31	TN-3F	41	MN-1F	51	MN-2F	61	MN-3F	71	MA-1F	81	MA-2F	91	MA-3F	
		専門級	12	TN-1V	22	TN-2V	32	TN-3V	42	MN-1V	52	MN-2V	62	MN-3V	72	MA-1V	82	MA-2V	92	MA-3V	
			13	TN-1H	23	TN-2H	33	TN-3H	43	MN-1H	53	MN-2H	63	MN-3H	73	MA-1H	83	MA-2H	93	MA-3H	
		管	14	TN-1O	24	TN-2O	34	TN-3O	44	MN-1O	54	MN-2O	64	MN-3O	74	MA-1O	84	MA-2O	94	MA-3O	
	15		TN-1P	25	TN-2P	35	TN-3P			55	MN-2P	65	MN-3P	75	MA-1P	85	MA-2P				
* ミグ溶接の場合, 溶接ワイヤの直径を選択してください (1.2, 1.6) mm * MN-2P 又は MN-3P の場合, 初層をティグ溶接 (する, しない) ( ) 内を○で囲む。																					
5 JIS Z 3811 既得資格		種類										証明書番号				登 録 日		年 月 日			
6 資格認証登録に際しての誓約事項		評価試験に合格し, 溶接技能者資格を登録するに当っては, 下記に従うものとする。 1 LWS A 0004の関係条項に従う。 2 認証に関する主張を行う場合は, 認証された範囲に関するものだけとする。 3 誤解を招きやすい方法で, 証明書を使用しない。 4 認証の一時停止又は取消しとなった場合は, 認証への言及を含むすべての主張を中止し, 証明書を一般社団法人軽金属溶接協会へ返却する。																			
7 事 業 所	会社コード											フリガナ					会社名				
	フリガナ																				
	所在地																				
	担当者(連絡先)	フリガナ											フリガナ					氏名			
8 料金・送金方法		受験日の3週間前に受験票とともに受験料の請求書を郵送いたします。 請求書が届きましたら2週間以内にお支払いの手続きをお願いいたします。 ※お支払方法: 請求書受取前のお振込みはご遠慮ください。 銀行振込でお願いいたします。 現金書留・事務局や会場での現金払いはお受けできません。																			

## 受験申込書の書き方

写真は、最近6か月以内に撮影した「縦45mm×横35mm（パスポートサイズ）」のものを貼付してください。写真はコンピュータで処理して使用しますので4.項で申込書が2枚以上になる場合では1枚に貼付し、他は写真箇所に「同時受験」と記入して写真は1枚で結構です。

1. **試験区分**：該当する番号を○で囲む。学科追試の場合は、前回実技合格発行日及び場所を記入。
2. **受験場所**：場所名、受験日を記入。
3. **受験者**：
  - ① 個人コードは、JIS Z 3811による資格者（5.既得資格参照）は必ず記入。
  - ② 生年月日は西暦で、年月日、満年齢を記入。
  - ③ 経験年数は、アルミニウム溶接の経験年数を記入、受験には基本級で1か月、専門級で3か月以上の経験が必要です。
  - ④ 溶接歴は、経験年数に対応する履歴を記入。  
例 ○○○○年○月 ○○会社入社 アルミ溶接作業に従事、現在に至る。
4. **受験種類**：今回受験するものの番号を○で囲む。ただし、申込書は、基本級と対応する専門級ごとに、また板と管との区分ごとに、それぞれ1枚必要です。例えば、  
TN-1FとTN-1V、TN-1H、TN-1Oのいずれか又は全部を受験する場合、1枚  
TN-1FとMN-2Fを受験する場合は、TN-1Fで1枚、MN-2Fで1枚  
TN-1FとTN-1Pを受験する場合は、1枚  
TN-1F、TN-1VとTN-1Pを受験する場合は、TN-1F、TN-1Vで1枚、TN-1Pで1枚
5. **既得資格**：JIS Z 3811による資格をもっている場合は、資格の種類（TN-1F、MA-2FVH等）、証明書番号等を記入。
  - ① 再認証（更新）試験又は基本級を省略して専門級を受験するときは、これに対応する資格を記入。
  - ② 学科試験を省略するときは、1枚の証明書について記入。  
（証明書の有効期限が切れていても、学科試験を省略できる）
6. **資格認証登録に際しての誓約事項**：この誓約事項に同意のうえお申してください。  
LWS A 0004は、軽金属溶接協会規格 LWS A 0004（アルミニウム溶接技能者の資格認証基準）です。
7. **事業所**：個人申込みの場合は記入不要。事業所でまとめて申込む場合に記入してください。
  - ① 会社コードは、事業所で資格者のいる場合は、必ず記入。  
初めて受験する事業所は記入不要
  - ② 担当者あてに受験に関する通知、合否結果、サーベイランス（継続）・再認証（更新）の連絡を送ります。
8. **料金・送金方法**：表面記載。
9. 用紙が不足する場合は表面をコピーしてご使用ください。
10. **申込期限**：受験日の1か月前までに協会事務所必着で郵送にて提出してください。